

The Impact of Sports and Physical Activities on Assertiveness in University Students

メタデータ	言語: English 出版者: 公開日: 2021-06-17 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: 江川, 潤 メールアドレス: 所属:
URL	https://jair.repo.nii.ac.jp/records/2003299

授与機関名 順天堂大学

学位記番号 甲第 81 号

The Impact of Sports and Physical Activities on Assertiveness in University Students

(スポーツ及び身体活動が大学生のアサーティブネスに及ぼす影響)

江川 潤 (えがわ じゅん)

博士 (スポーツ健康科学)

論文内容の要旨

日本の大学生におけるコミュニケーション能力の向上は重要である。しかし、大学生のアサーティブネスを分析するためには、科学的根拠に基づいた実践的なアプローチが必要である。本研究では、発達段階に応じたスポーツや身体活動の経験と大学生のアサーティブネスとの関係を検討した。対象者は日本の大学生 756 名 (男子 235 名、女子 521 名) であった。スポーツ経験と身体活動レベルは、スポーツキャリアプロフィールと国際身体活動質問票 (International Physical Activity Questionnaire Short Forms) の項目で評価した。アサーティブネスは Rathus Assertiveness Schedule を用いて評価した。ロジスティック回帰分析の結果において、小学生の段階で中・高競技レベルのスポーツへの参加は、大学生のアサーティブネスと関連していた (未経験者 vs 中競技レベル: AOR 1.70 95%CI 1.02 - 2.81、未経験者 vs 高競技レベル: AOR 2.29 95%CI 1.11 - 4.71)。中等度または活発な身体活動の実施は、大学生のアサーティブネスと関連していた (非活動的身体活動 vs 中等度身体活動 720 分/週以上: AOR 1.97 95%CI 1.05 - 3.72)、(非活動的身体活動 vs 活発な身体活動 360.0 - 739.9 分/週以内: AOR 2.19 95%CI 1.31 - 3.68)。結論としては、青少年のスポーツへの参加を促進し、キャンパスライフの中で十分な身体活動レベルを確保することは、大学生のアサーティブネスを高めることが示唆できた。